

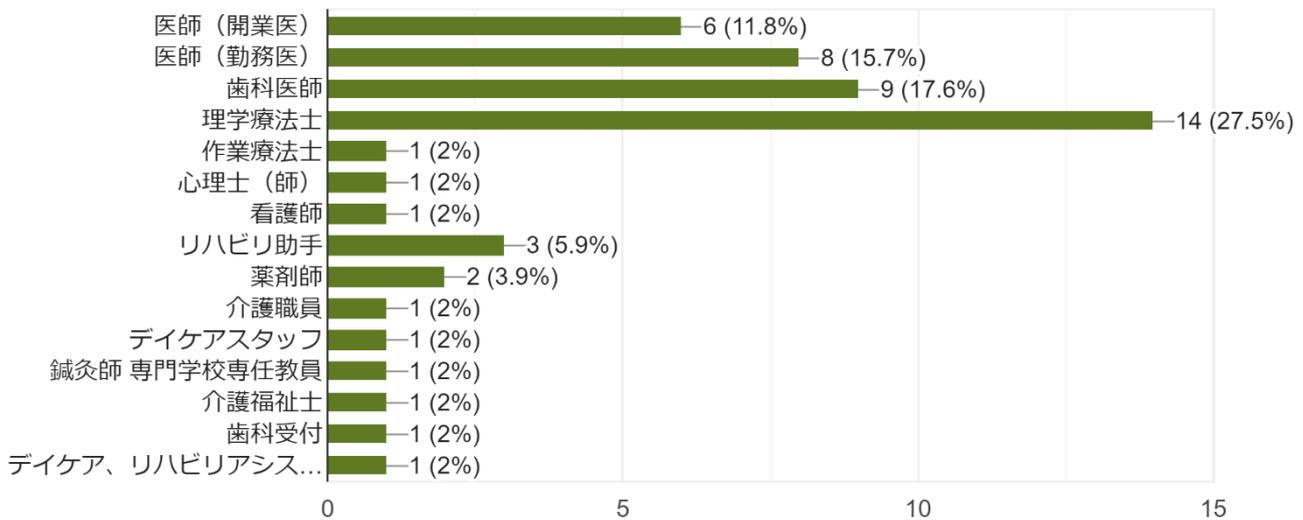
慢性疼痛診療システム均てん化等事業近畿地区 開業医・リハビリテーション療法士合同セミナー 「スタッフみんなで慢性痛と向き合う」 参加者アンケート集計結果

2024年2月4日（日）10:00～12:30（ハイブリッド開催）

参加者数 計 127名（オンライン 113名 現地参加 5名 登壇者 9名）

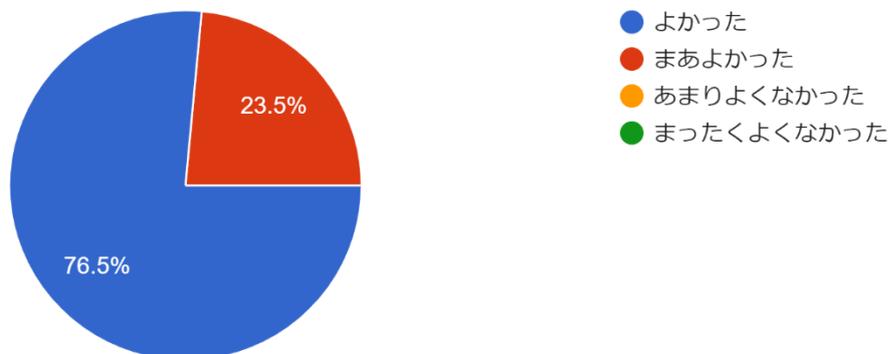
1. あなたの職種を教えてください。

51件の回答



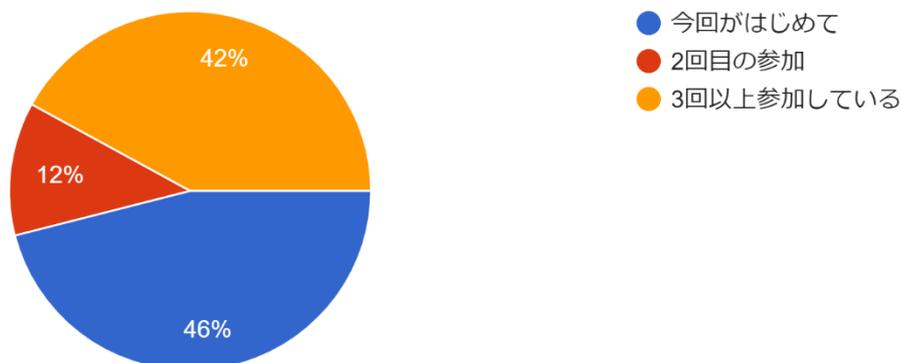
2. 本セミナーの感想をお聞かせください。

51件の回答



3. 本事業の「開業医セミナー」に参加された回数を教えてください。

50 件の回答



4. 本セミナーについてご意見・ご感想をご記入ください。

- ・包括的な内容で勉強となった。理想像のみならず、診療行為を持続可能とする診療報酬といった現実的な話に触れている部分が非常に良かった。
- ・わかりやすいです
- ・痛みのパンフレットを患者教育としても使っていきたいと思う
- ・他職種の方々のお話が聞けて勉強になりました。また、実際に集学的診療をされている先生のお話が聞けてイメージが付きやすかったです。
- ・情報共有や気づきがありありがたいです。
- ・慢性痛にご理解ある司会の先生が増えるとありがたいと切に思いました。継続治療をかかりつけ医で行うなどの医科歯科連携も大切になります。
- ・実際に慢性疼痛治療を実施されている先生方の具体的な講義を拝聴でき、今後の業務に活用させていただけると思います。ありがとうございました。
- ・勉強になりました。
- ・患者様から話を聞いたりして、長くなることもあるのですが、その方を知るためには話を聞く事も大事だと思っています。
- ・歯科衛生士の先生の話が実際の対応が学べ勉強になりました。
- ・大変分かりやすく、現場レベルで実践に活かされる内容が盛り沢山でとても楽しく拝聴させていただきました
- ・西上先生の 疼痛管理、治療反応性という言葉、松田先生の学際的定義が参考になりました。
- ・理学療法士でも、運動療法を行う上で、痛みの病態理解、教育から活動量までマネジメントする事が大切だと思いました。
- ・とてもわかりやすい内容で、自分と同じようなことに直面し、向き合っ解決していらっしゃるのがわ

かり、心強く思いました。

自分のモチベーションアップに繋がりますが、自分の職場では、物理的に環境的に難しいところもあると思いました。

- ・本日はつたない質問にお答えいただきありがとうございました。歯科では会場の樋口先生がおっしゃったように、結局患者さんが訴えられる中心となる病状とは違うレセプト病名をつけ、対応しなければならず、また疼痛に対する対応を行っているのに、歯周病の管理として診てゆくという本則でない対応を強いられます。その上でこういう訴えに対し傾聴してゆくと梅崎先生が行われているように30分から1時間の対応が普通にかかります。運動療法等も患者さんに提示することがありますが、歯科ではPTさんとの接点すらなく、独学での指導となりの確であるかも自分自身心許ないところがあります。これらすべて別の歯科病名をつけても十分な評価とはいえず(この部分は他科でも同じこと本日のお話で理解しました)私の規模の診療所のようにDr一人 DH一人 受付なしだけの小規模診療所ではスタッフに任せるということもできず、百数十点の報酬で1時間経過することもままあります。このような部分行ったことをしっかり評価されるような制度ができるよう希望します。
- ・他職種の先生のお話が聞けて良かったです。
- ・恥ずかしながら、はじめて耳にする言葉が多かったです。しかし利用者様や患者様が、何気に言われていた事が、こういう事だったにでは?とはっと思いました。介護職としてまずできることは、普段の業務で、利用者様や患者様の言葉、表情、今までの生活環境などを汲み取れた時は、看護師や理学療法士に報告相談し、慢性疼痛の扉を少しでも早く開く事ができたらと思いました。
- ・患者様との対応の仕方など、気づく点が多くありました。
- ・具体的な評価項目等が分かり、とても有意義でした。ありがとうございます。
- ・阪大が現在行っていることがわかったよかった
- ・お世話になりました
- ・いろいろな観点からお話が聞けて良かったです。
- ・疼痛センターが全国に30以上あるのは心強いばかりです。患者さんへの接し方は、勉強になりました。
- ・Good
- ・スタッフの声掛けや働き一つひとつが診療につながっていることを、明文化していただき、スタッフと、多職種で連携した医療の大切さを再確認できた。
- ・さらに知見を深め、慢性疼痛に関わる専門職が増えることが重要と考えます
- ・痛みを持つ人への対応、分かりやすくお話しして下さいます。

5. 今後のセミナーについてのご要望がありましたらご記入ください。

- ・こういった形で診療報酬上治療を可能としていくのか。
- ・リハビリにおける患者様への接し方などを知りたいです。
- ・NHKも慢性疼痛関係の番組で鍼灸師を登用しています。鍼灸師もパネリストに入れていただきたい。
- ・開業医から痛みセンターまでの、役割分担、開業医の実際の工夫、困ったことを議論したい。
- ・運動療法を行う上での患者教育から目標設定までの介入
- ・引き続き、学びの機会を共有していただけるとたいへん嬉しく思います。

- ・現在のように色々な職種から見た対応や苦勞 をお話しいただく形続けてください。
- ・今まで会場参加は遠方で困難でしたが、このように Zoom での参加をさせていただきありがたく思いました。今後も宜しく願いいたします。
- ・関西の各痛みセンターが実際に初診をどのように行っているのか
- ・月 1 回半日、クリニックのあり方や運営について全職種でスタッフミーティングを行っているが、その時に共有したり GW のヒントになるものがあればと思う
- ・セラピスト向け疼痛神経科学教育(PNE)
- ・痴呆症、認知症のお話も聞いてみたいです。

6. 本セミナーをどこでお知りになりましたか。(複数回答可)

51 件の回答

